



スターゼン
株式会社

2020年3月期 決算補足資料

2020年
5月

証券コード：8043

1. 通期決算

1.通期決算 エグゼクティブ・サマリー



業績動向

2020年
3月期
通期実績

売上高横ばい、利益減

売上高	: 3,514億円	(前期比	+0.0%)
営業利益	: 42億円	(前期比	▲11.7%)
経常利益	: 58億円	(前期比	▲9.7%)
税後利益	: 17億円	(前期比	▲61.8%)

【売上高、売上総利益】

・通年で、国産食肉、輸入食肉共に堅調に推移。特に国産豚、輸入豚は、売上増、売上総利益増に大きく貢献した。

・一方で、業務用ハンバーグ、ハム・ソーセージなどの加工食品については、原料価格の高騰、消費者の低価格志向や、販売競争の激化により、利益がとりにくい状況となった。

【販売費及び一般管理費】

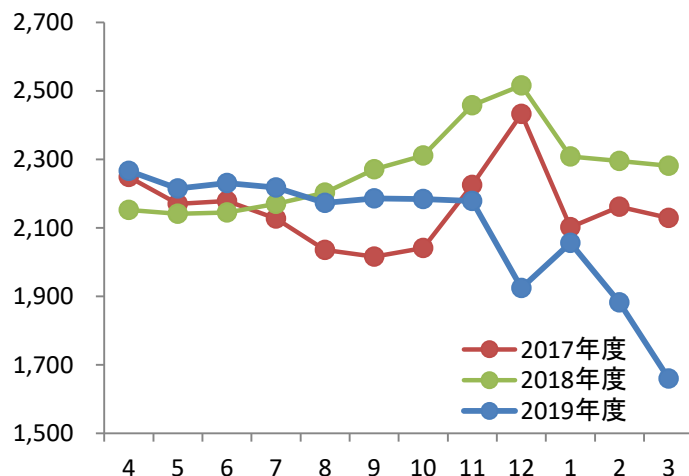
・業容拡大に伴う人件費の増加や物流費の増加により、販管費は、前年比13億円の増加。売上総利益の増加でカバーできず。

【特別損失】

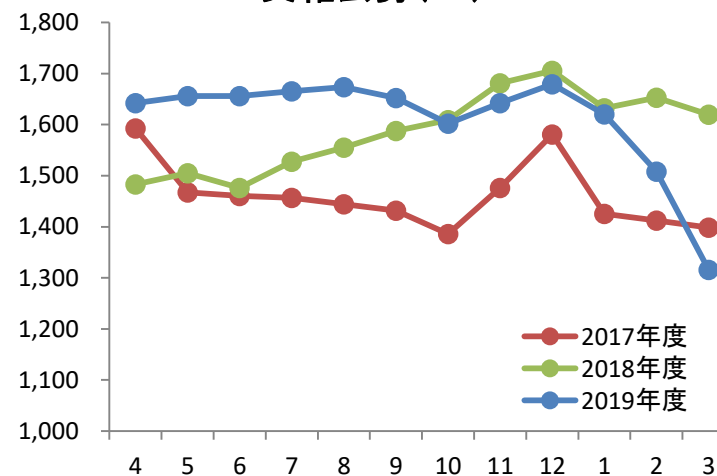
- ・ハンバーグの販売が計画よりも苦戦したことにより、ハンバーグ工場にて固定資産減損損失を認識。
- ・外食向け業務用商品の販売環境悪化により、外食向け販売子会社にてのれん等の減損損失を認識。

相場環境（牛相場が下半期下落）

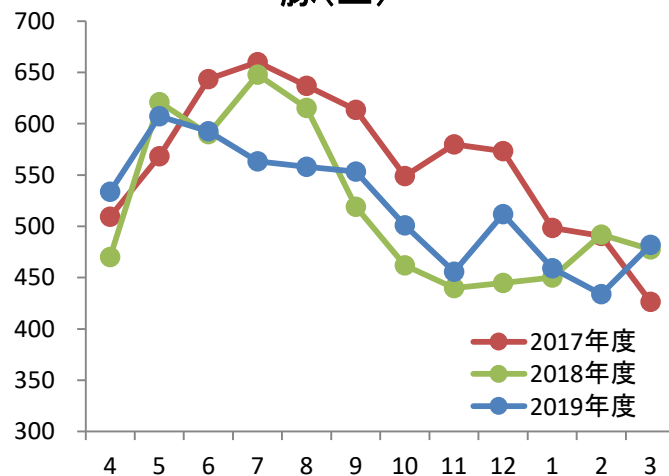
和牛去勢(A3)



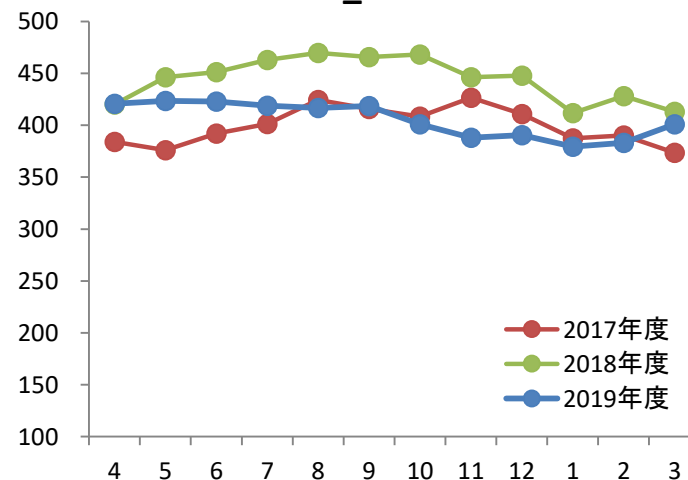
交雑去勢(B3)



豚(上)



FB_Ribs



連結PL 推移



(単位：億円)

	19/3期 実績	20/3期 計画	20/3期 実績
売上高	3,512	3,650	3,514
営業利益	48	51	42
経常利益	64	68	58
税後利益	46	48	17

・営業利益

19/3実績 営業利益率 1.36%

20/3計画 営業利益率 1.40%

20/3実績 営業利益率 1.20%

- 売上総利益 : 輸入豚、国産牛が利益に貢献
ハンバーグ・ハムソーセージ販売の計画未達
- 販管費 : 競争激化により、人件費・物流費
の増加を売上総利益でカバーできず

・特別損益

製造事業

- ハンバーグ工場での減損あり
- 遊休土地の減損あり

外食向け販売子会社

- 外食向け商品不調により、のれん・固定資産
の減損あり

・コロナの影響

▲2～▲3億円（税後）

連結PL 売上高



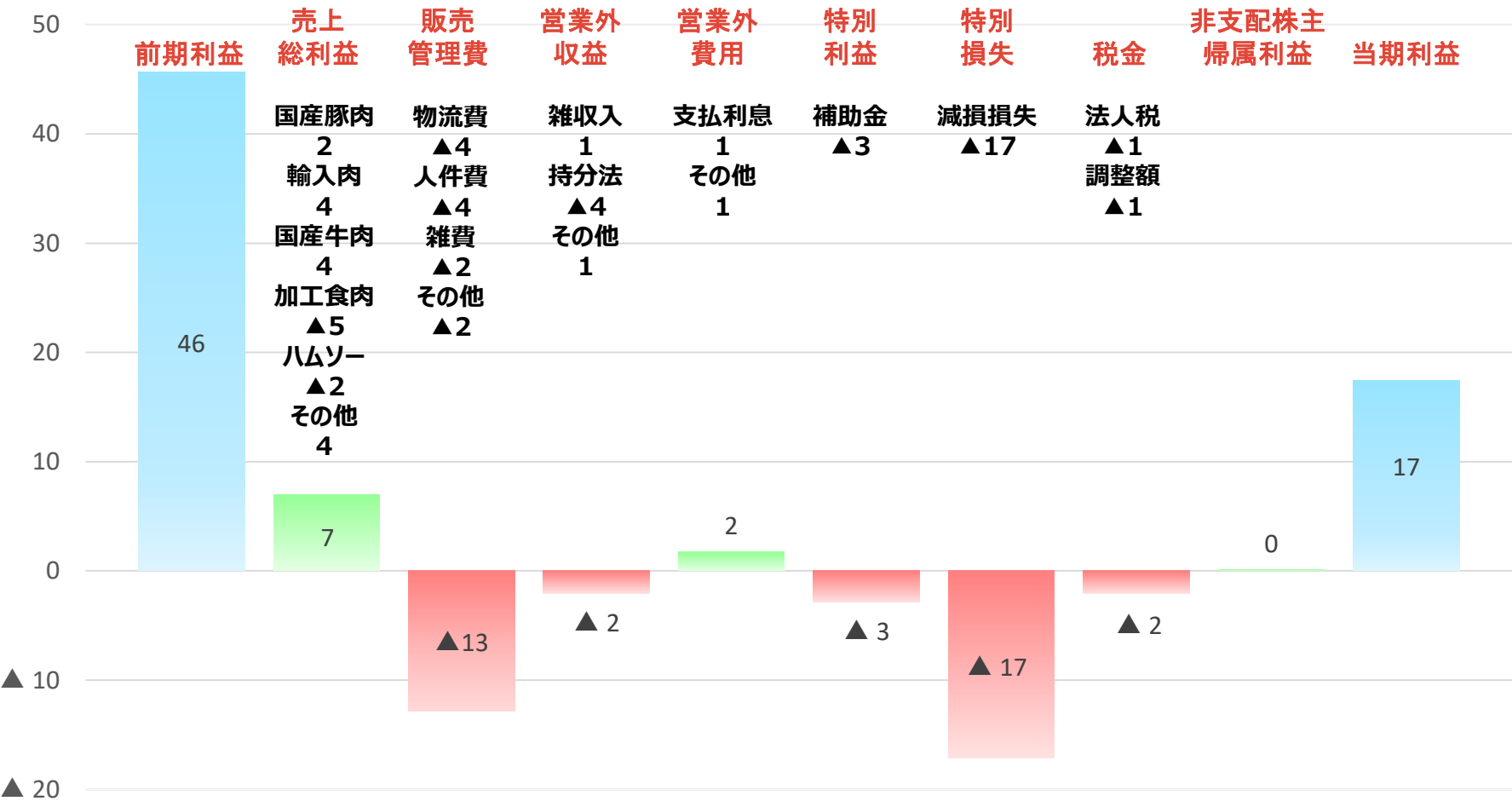
(単位：億円)

	20/3期	19/3期	増減額	構成比
国産食肉	1,487	1,483	4	42.3%
輸入食肉	1,313	1,334	▲21	37.4%
加工食品	537	511	26	15.3%
ハム・ソー	129	138	▲9	3.7%
その他	48	46	2	1.3%
合計	3,514	3,512	2	100%

- ・国産食肉は、国産豚肉が通年好調を維持。
- ・輸入食肉は、輸入牛を中心に売上減
- ・加工食品は、ハンバーグ、ローストビーフの売上増（但し、競争激化から、売上総利益減）

損益増減要因概要

(単位：億円)



連結BS・連結CF



単位：億円

連結BS 20/3期末

現金	92	買掛金	152
売掛金	318	短期借入金	175
商品・前渡金	370	未払金	72
固定資産	457	長期借入・社債	241
その他資産	22	その他負債	96
		資本	523
総資産	1,259		1,259

連結BS 19/3期末

現金	102	買掛金	174
売掛金	342	短期借入金	164
商品・前渡金	321	未払金	75
固定資産	472	長期借入・社債	229
その他資産	22	その他負債	95
		資本	522
総資産	1,259		1,259

連結CF 20/3期

期首	9,969
営業CF	1,459
投資CF	-3,412
財務CF	890
換算	-10
期末	8,896

連結CF 19/3期

期首	9,793
営業CF	7,000
投資CF	-4,091
財務CF	-2,713
換算	-20
期末	9,969

・輸入食肉を中心に在庫増 ⇒ 営業CFの減少

2. 21/3期 連結業績予想

2021年3月期 通期業績予想



(単位：億円)

	21/3期 通期予想 ①	20/3期 実績 ②	前年通期 対比 ①÷②
売上高	3,300	3,512	93.9%
営業利益	26	42	61.4%
経常利益	36	58	62.1%
税後利益	28	17	160.6%

通期予想

- ・コロナの影響により、スーパーマーケット向け国産食肉、輸入食肉の需要は旺盛で、伸長することを予想。
- ・一方、利幅の高い外食向けの食肉・加工食品は苦戦を余儀なくされ、営業利益・経常利益ともに、減少を予想する。